

折合林道改良工事（上葛内橋）

数量計算書

三陸中部森林管理署

2. 現場塗装工

1 橋梁塗装工数量表

項 目		仕 様	単 位	数 量	備 考
上部工鋼部材 塗替塗装工 Rc-I 塗装系	素地調整	1種ケレン (ブラストケレン)	m ²	112.1	
	下塗 (防食下地)	有機ゾンクリッチペイント	m ²	112.1	スプレー600g×1層
	下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	m ²	112.1	スプレー240g×1層
	下 塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	m ²	112.1	スプレー240g×1層
	中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m ²	112.1	スプレー淡彩170g×1層
	上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m ²	112.1	スプレー淡彩140g×1層
足 場 工	吊足場 TYPE-A3	床面シート張保護・板張防護・シート張防護・1種ケレン養生シート・吊りチェーン盛替え	m ²	91.7	
	朝顔 TYPE-B	板張防護・シート張防護・1種ケレン用養生シート	m ²	91.7	

塗装塗替工
数量計算書

(1) 上部工鋼部材塗替塗装工

① 塗装面積（現場塗装）

主桁	=	100.78	m ²
横桁	=	10.69	m ²
支 承	=	0.64	m ²
塗装面積合計	=	112.1	m ²

② 塗装仕様（Rc - I 塗装系）

素地調整	1種ケレン（ブラストケレン）
防食下地	有機ジンクリッチエイト
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗

a) 主桁

部材名	規格・寸法 mm	周長・幅 m	長さ m	面数	員数	塗装面積 m ²	備考
桁長=20.40m							
<p>H800×300×14×26</p> <p>端横桁</p> <p>中間横桁</p> <p>① 周長 2.424m CAD計測値</p> <p>② □90×748</p> <p>③ □90×748</p>							
主桁	H-800×300×14×26	2.424	× 20.400	1	1	49.450	①
V. STIFF	外側	0.090	× 0.748	2	2	0.269	②
〃	内側	0.090	× 0.748	2	5	0.673	③
小計						50.392	
×2						100.784	
合計						100.78	m ²

b) 横桁

部材名	規格・寸法 mm	周長・幅 m	長さ m	面数	員数	塗装面積 m ²	備考
<p>端横桁 N=2本 , 中間横桁 N=3本</p>							
端横桁	[-300×90×9×13	0.914	× 2.310	1	2	4.223	①
KNEE PL	□-(300/77)×300	0.1885	× 0.300	2	4	0.452	②
HTB接合部	□-77×300	-0.077	× 0.300	1	4	-0.092	③
HTB接合部	□-77×300	-0.077	× 0.300	1	4	-0.092	④
小計						4.491	
中間横桁	[-300×90×9×13	0.914	× 2.310	1	3	6.334	①
HTB接合部	□-77×300	-0.077	× 0.300	1	6	-0.139	⑤
小計						6.195	
合計						10.69	m ²

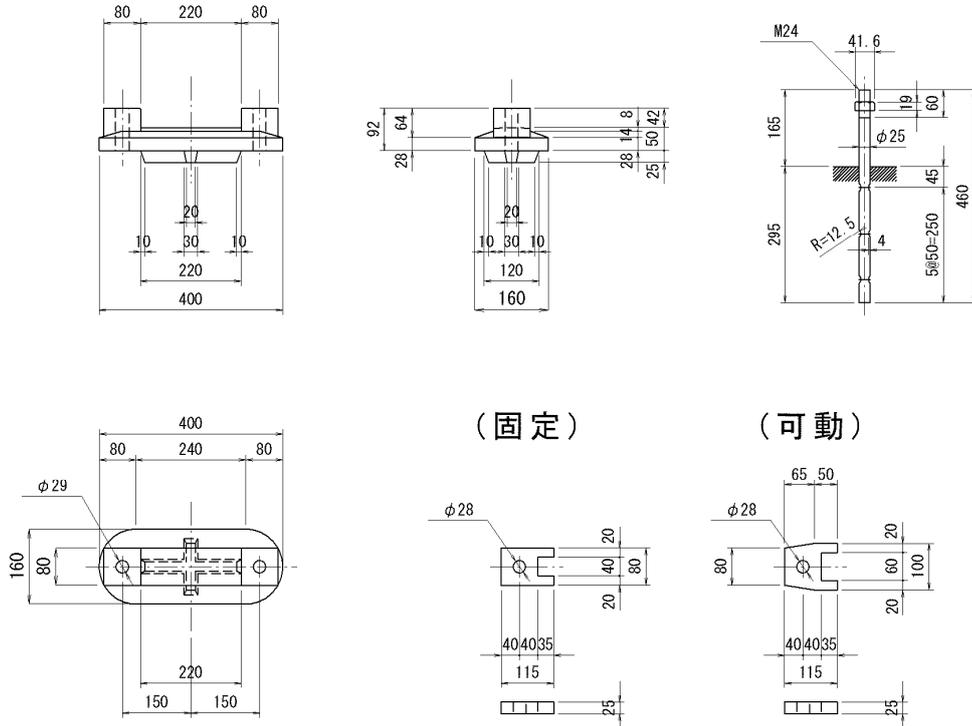
c) 支 承

支承参考図より

所要数 = 2						
塗装箇所	幅、周長(m)	長さ(m)	面数	員数	NET	塗装面積(m ²)
固定						= 0.16
可動						= 0.16
						= 0.32 m2
			2 ×	0.32		= 0.64 m2

数量参考資料

支承参考図



設計条件（固定）

反		力	
全反力	R	282.0 kN	
死荷重反力	Rd	138.7 kN	
活荷重反力	R (I+i)	143.3 kN	
橋軸方向水平力（移動時）	R H1f	70.5 kN	
橋軸方向水平力（地震時）	R H1e	44.5 kN	
橋軸直角方向水平力（地震時）	R H2e	18.7 kN	
上揚力（地震時）	V	13.9 kN	
水平震度			
設計水平震度	K H	0.19	
摩擦係数			
設計摩擦係数	f	0.25	

材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	下 沓	SCW480N	1	23.7	
2	アンカーボルト・平座金	SS400	2	4.0	
3	ピンチプレート	SS400	2	2.8	
全重量				30.5 (kg)	
塗装面積				0.16 m ²	

設計条件（可動）

反		力	
全反力	R	282.0 kN	
死荷重反力	Rd	138.7 kN	
活荷重反力	R (I+i)	143.3 kN	
橋軸方向水平力（移動時）	R H1f	70.5 kN	
橋軸方向水平力（地震時）	R H1e	35.1 kN	
橋軸直角方向水平力（地震時）	R H2e	18.7 kN	
上揚力（地震時）	V	13.9 kN	
水平震度			
設計水平震度	K H	0.19	
摩擦係数			
設計摩擦係数	f	0.25	

材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	下 沓	SCW480N	1	23.7	
2	アンカーボルト・平座金	SS400	2	4.0	
3	ピンチプレート	SS400	2	3.2	
全重量				30.9 (kg)	
塗装面積				0.16 m ²	

(2) 足場工

① 吊足場 TYPE-A3

(床面シート張保護・板張防護・シート防護・1種ケレン用養生シート・吊りチェーン盛替え)

$$A = 4.70 \times 19.50 = 91.7 \text{ m}^2$$

② 朝顔 TYPE-B(板張防護・シート防護・1種ケレン用養生シート)

$$A = 4.70 \times 19.50 = 91.7 \text{ m}^2$$

3. 断面修復工数量表

	項 目	仕 様	単 位	数 量
断 面 修 復 工	コンクリートはつり		m ²	2.41
	プライマー	エポキシ樹脂系	m ²	2.41
	断面修復	ポリマーセメント系, 左官工法	m ³	0.074
	コンクリート廃材処分	無筋	m ³	0.04

重量0.04×1.13=0.045t

1 断面修復工（左官工法）：一式

※1構造物当たり修復延べ体積0.1m³未満

2 コンクリート殻 人力積込 0.04m³

3 コンクリート殻処分 無筋 0.05 t

数量計算書

①コンクリート研り・プライマー(下塗り塗料)

1	A1=	0.60	×	0.30	=	0.1800	m ²
2	A2=	0.40	×	0.30	=	0.1200	m ²
3	A3=	0.50	×	0.30	=	0.1500	m ²
4	A4=	0.30	×	0.30	=	0.0900	m ²
5	A5=	0.30	×	0.30	=	0.0900	m ²
6	A6=	0.20	×	0.20	=	0.0400	m ²
7	A7=	0.40	×	0.30	=	0.1200	m ²
8	A8=	0.40	×	0.30	=	0.1200	m ²
9	A9=	0.30	×	0.20	=	0.0600	m ²
10	A10=	0.90	×	0.30	=	0.2700	m ²
11	A11=	0.70	×	0.30	=	0.2100	m ²
12	A12=	0.60	×	0.30	=	0.1800	m ²
13	A13=	0.80	×	0.30	=	0.2400	m ²
14	A14=	0.20	×	0.30	=	0.0600	m ²
15	A15=	0.30	×	0.30	=	0.0900	m ²
16	A16=	0.80	×	0.30	=	0.2400	m ²
17	A17=	0.20	×	0.30	=	0.0600	m ²
18	A18=	0.30	×	0.30	=	0.0900	m ²

$$\Sigma A = 2.4100 \text{ m}^2$$

※プライマー(下塗り塗料)被着体(充填材)との密着性を高める。

数量計算書

②断面修復

1	V1=	0.60	×	0.30	×	0.030	=	0.0054	m ³
2	V2=	0.40	×	0.30	×	0.030	=	0.0036	m ³
3	V3=	0.50	×	0.30	×	0.030	=	0.0045	m ³
4	V4=	0.30	×	0.30	×	0.030	=	0.0027	m ³
5	V5=	0.30	×	0.30	×	0.030	=	0.0027	m ³
6	V6=	0.20	×	0.30	×	0.030	=	0.0018	m ³
7	V7=	0.40	×	0.30	×	0.030	=	0.0036	m ³
8	V8=	0.40	×	0.30	×	0.030	=	0.0036	m ³
9	V9=	0.30	×	0.30	×	0.030	=	0.0027	m ³
10	V10=	0.90	×	0.30	×	0.030	=	0.0081	m ³
11	V11=	0.70	×	0.30	×	0.030	=	0.0063	m ³
12	V12=	0.60	×	0.30	×	0.030	=	0.0054	m ³
13	V13=	0.80	×	0.30	×	0.030	=	0.0072	m ³
14	V14=	0.20	×	0.30	×	0.030	=	0.0018	m ³
15	V15=	0.30	×	0.30	×	0.030	=	0.0027	m ³
16	V16=	0.80	×	0.30	×	0.030	=	0.0072	m ³
17	V17=	0.20	×	0.30	×	0.030	=	0.0018	m ³
18	V18=	0.30	×	0.30	×	0.030	=	0.0027	m ³

$$\underline{\Sigma V} = 0.0738 \text{ m}^3$$

③ コンクリート廃材処分（無筋）

※60%と想定

$$V = 0.0738 \times 0.60 = 0.0443 \text{ m}^3$$

4. 防護柵取替工数量表

1 既設防護柵撤去工

細別	規格	単位	数量	備考
既設防護柵撤去延長	ガードレールC種 (Gr-C-2B-4)	m	8	23.3kg/m
既設支柱本数		本	4	
既設ビーム		m	8	
既設袖ビーム		m	0.5	
笠木撤去		m	8	
ブラケット		個	4	
笠木取付けボルト		個	9	
ブラケット取付けボルト		個	16	
端末笠木		個	1	
既設防護柵撤去延長	笠木部	m	8	
笠木撤去		m	8	
笠木取付けボルト		個	9	
端末笠木		個	1	
既設地覆コンクリートはつり	はつり厚5cm	m ²	0.4	体積0.02m ³ (0.02t)
既設地覆鉄筋	D13 (L500mm)	本	2	想定数量 0.995*0.5m*2本=0.995
ベースプレート	250×250	枚	1	
支柱部引抜き		本	4	
橋名板 (上葛内橋)	400×150×13mm	枚	1	再利用

2 新設防護柵設置工

細別	規格	単位	数量	備考
防護柵設置延長 (本体・袖ビーム含む)	ガードレールC種 (Gr-C-2B-4)	m	8	
防護柵設置延長 (笠木部)	笠木	m	8	
新設支柱	φ114.3×4.5	本	4	
支柱内部充填	無収縮モルタル (現場配合タイプ)	m ³	0.016	0.004m ³ ×4箇所
新設ビーム	2.3×350×2330	枚	4	
新設袖ビーム	2.3×356×660	枚	1	
新設笠木	150×50×3.2×2000	枚	8	本体部4枚、笠木部4枚
新設端末笠木	150×50×3.2×150	枚	2	本体部1枚、笠木部1枚
笠木取付けボルト	M16×35	本	20	
ブラケット		個	4	
ブラケット取付けボルト	M20×145	本	24	1箇所6個×4箇所
地覆コンクリート	350×250×710	m ³	0.062	生コン：普通25-12-30
同上型枠	350×300+(300+100)×710	m ²	0.4	
地覆鉄筋	D13 (SD345)	kg	2.7	想定数量

3 再利用防護柵工

細別	規格	単位	数量	備考
橋名板 (上葛内橋)	400×150×13mm	枚	1	

5. 構造物撤去工数量表

1 運搬処理工

※橋梁仮設工事の積算 付表-3より

細別	規格	単位	数量	備考
PCB含有廃ブラスト処分費	112.1m ² ×40m ² /kg	kg	4,484.0	調査時試験体150gを加える
PCB含有廃ブラスト運搬容器	4484kg/200kg=22.42	缶	23.0	
PCB含有廃ブラスト運搬費	112.1m ² ×40kg=4484kg ドラム缶20kg×23缶=460kg	kg	4,944.0	

6. 産業廃棄物処理数量表

(1) コンクリート殻

細別	規格	単位	数量	備考
産廃処分（断面修復工）	無筋コンクリート（0.04m ³ ×1.13=0.05）	t	0.05	
産廃処分（防護柵取替工）	無筋コンクリート（0.02m ³ ×1.13=0.02）	t	0.02	
現場発生品運搬（距離22.5km）	無筋コンクリート殻（0.04+0.02=0.1） 小型車（2t）	m ³	0.1	1回

(2) 鉄くず

細別	規格	単位	数量	備考
産廃処分（防護柵取替工）	ガードレールC種（23.3kg× 8m=186.4kg）	t	0.2	
現場発生品運搬（距離52.2km）	鉄くず0.2t 小型車（2t）	式	1	1回

7. 仮設工数量表

1 仮設工

(1) クリッルーム設置

細別	規格	単位	数量	備考
簡易セキュリティルーム	W1500×L4500×H2000	組	1	
エアシャワー	6.0m ³ /min	台/月	1	サポート料・基本料 別途
1次フィルター (プレフィルター)	エアシャワー用	枚	2	1週間に1枚
2次フィルター (HEPAフィルター)	エアシャワー用	枚	1	3カ月に1枚
チャコールフィルター	エアシャワー用	枚	1	3カ月に1枚
コンプレッサ (ベビーコンプレッサ)	1.3kw	台/月	1	サポート料・基本料 別途
エアホース	8.5mm×30m ドラム	台/月	1	サポート料・基本料 別途
エアシャワー運搬	取寄・返送	回	2	

(2) 環境装置設置

細別	規格	単位	数量	備考
負圧除塵装置	5/7m ³ /min	台/月	3	サポート料・基本料 別途
1次フィルター	除塵装置用	枚	24	1台1日に1枚
2次フィルター	除塵装置用	枚	6	1台1週間に1枚
活性炭フィルター	除塵装置用	枚	3	1台3カ月に1枚
HEPAフィルター	除塵装置用	枚	3	1台3カ月に1枚
PETクリアダクト 排気用	300φ/10m	本	3	
ダクトバンド	300φ	個	3	
除塵装置運搬 (3台分)	取寄・返送	回	2	

(3) 発動発電機運転

細別	規格	単位	数量	備考
発動発電機(賃料) 24h	ディーゼル15.0KVA	日	20	

(4) 分電盤設備

細別	規格	単位	数量	備考
分電盤設備	設置・撤去	箇所	1	

(5) 設置極設備

細別	規格	単位	数量	備考
設置極	D種 設置・撤去	箇所	1	

細別	規格	単位	数量	備考

7-4. 支障木処理工

(1) 支障木処理木数量等

名称	樹種	胸高直径	樹高	単位	数量	摘要
支障木処理	広葉樹	76cm	17m	本	1	
支障木処理	広葉樹	54cm	16m	本	1	
合計				本	2	材積：4.44m ³

伐倒・集造材・小運搬巻立作業 一式

1. 安全費数量表

1 木製工事用看板枠工

細別	規格	単位	数量	備考
木製工事用看板枠	林道工事用	基	1	

2 防毒マスク・防護衣等

細別	規格	単位	数量	備考
電動ファン付呼吸器保護具	BL-711H-03	個	1	1人分
フィルター（電動ファン付呼吸器用）	BRD-82型	個	32	別紙使用数量算出より
防毒マスク	1551G型	個	3	3人分
防毒マスク用 吸収缶	KGC-1型L 有機ガス用（フィルター付き）	個	192	別紙使用数量算出より
使い捨て化学防護服	JIS T 8115:2015適合	着	64	別紙使用数量算出より
化学防護手袋	JIS T 8116:2015適合	双	64	別紙使用数量算出より
シューズカバー		足	64	別紙使用数量算出より

1. 施行区間内を負圧にするために必要な排気量を求める。

施行区間内の容積 (m³) ÷ 15分(min) = 必要風量 (m³/min)

$$\begin{array}{rccclcl} \text{床面積 (m}^2\text{)} & & \text{高さ} & & & & \\ 91.7 & \times & 1.85 & \div & 15\text{分} & = & 11.30967 \end{array}$$

2. 排気風量を確保するために必要な排気装置と台数を求める。

排気装置1台当たりの排気能力(m³/min) × 台数 = 排気能力(m³/min)

$$\begin{array}{rcccl} \text{排気装置能力} & & \text{台数} & & \\ 5 & \times & 3 & = & 15 \end{array}$$

3. 排気装置の排気能力が必要な風量を満たしているか確認し、設置する排気装置を設置する。

必要風量 (m³/min) ≤ 排気能力(m³/min)

$$\begin{array}{rcccl} \text{必要風量} & & \text{排気能力} & & \\ 11.30967 & \leq & 15 & & \text{OK!} \end{array}$$

※適切な排気能力の除塵装置が無く、過剰な排気能力の除塵装置を使わざるを得ない場合は、送気装置も使用する事。

※参考資料 「建築物の解体等に係る石綿飛散防止マニュアル」より

$$\text{必要台数} \geq \frac{\text{作業場の気積 (床面積} \times \text{高さ) (m}^3\text{)} / (60\text{分} \div 4\text{回})}{\text{集塵} \cdot \text{排気装置1台当たりの排気能力(m}^3\text{/分)}}$$

負圧除塵装置

アクティオカタログより

※50Hzの出力

型式 MDFU-7Z (S)	最大風量	5 m ³ /min	
	ファン出力	0.06 kw	
	1次フィルタ捕集効率	35	
	HEPAフィルタ捕集効率	99.97 以上	
	重量	25 kg	
	吸込口径	250 mm	
	吐出口径	150 mm	300 mm

フィルター使用数量算出

※日数は上葛内橋施工日数及び施工共用日数の算出より

供用期間 60 日間 (施工共用日数37日)

使用日数 8 日間 (塗替塗装施工共用日数20日)

(素地調整4日・下塗り1日・下塗り1日・中塗り1日・上塗り1日)

負圧除塵装置用

品名	単位	数量	備考
負圧除塵装置	台	3	5/7m ³ /min
1次フィルター	枚	24	1日あたり1枚
2次フィルター	枚	6	1週間に1枚
活性炭フィルター	枚	3	3カ月に1枚
HEPAフィルター	枚	3	3カ月に1枚

クリンルーム

品名	単位	数量	備考
簡易型セキュリテールーム	組	1	W1500×L4500×H2000

エアシャワー用

品名	単位	数量	備考
エアシャワー	台	1	6m ³ /min
1次フィルター	枚	2	1週間に1枚
HEPAフィルター	枚	1	3カ月に1枚
チャコールフィルター	枚	1	3カ月に1枚

塗装 施行日数

上葛内橋

素地調整	1種ケレン・かす回収	4	日
塗装	下塗り	1	日
	下塗り (2層)	1	日
	中塗り	1	日
	上塗り	1	日

素地調整	1種ケレン・かす回収		日
塗装	下塗り		日
	下塗り (2層)		日
	中塗り		日
	上塗り		日

集計

素地調整	1種ケレン・カス回収	4	日
塗装		4	日

表6-2

上葛内橋施工日数及び施工供用日数の算出

工 種	規 格	数 量	単 位	日 当 り 施 工 量	日 数	計 算 式	摘 要
上部工鋼部材塗替塗装工							
塗替塗装	清掃・水洗い、構造物別無 制約無 夜間無	112.1	m2	1050	1.0		
塗替塗装	素地調整 構造物別無 制約無 夜間無 Rc-I 1種ワン(7'ファスト処理) か、才回収、積込有	112.1	m2	30.8	4.0		
塗装間隔					0.3	$0.5 \div 1.7$	
塗替塗装	下塗り 構造物別無 制約無 夜間無 Rc-I 有機ソリッドペイント(1層)・ｽﾌﾟﾚｰ	112.1	m2	360	1.0		
塗装間隔					0.6	$1.0 \div 1.7$	
塗替塗装	下塗り 構造物別無 制約無 夜間無 Rc-I 弱溶剤形変性ﾋﾞｯｷﾞ樹脂塗料(2層)・ｽﾌﾟﾚｰ	112.1	m2	225	1.0		
塗装間隔					1.2	$1.0 \div 1.7 \times 2$	
塗替塗装	中塗り 構造物別無 制約無 夜間無 Rc-I 弱溶剤形ﾋﾞｯｷﾞ樹脂塗料・ｽﾌﾟﾚｰ	112.1	m2	450	1.0		
塗装間隔					0.6	$1.0 \div 1.7$	
塗替塗装	上塗り 構造物別無 制約無 夜間無 Rc-I 弱溶剤形ﾋﾞｯｷﾞ樹脂塗料・ｽﾌﾟﾚｰ	112.1	m2	450	1.0		
足 場 工				上部工鋼部材塗替塗装工施工日数Σ d =	(11.7)	供用日数20日	供用日数(d)×1.7
床版補強足場 ｸﾞﾗﾌ-A3	吊足場 (部材移動有)	91.7	m2	33	3.0		
床面ｼｰﾄ張り防護工	一般用地内・河川高水敷部等 極小面積補正無	91.7	m2	714	1.0		
床版補強足場 ｸﾞﾗﾌ-B	両面朝顔	91.7	m2	227	1.0		
防護工 一般用地内・河川高水敷部等 極小面積補正無	両側朝顔 板張防護	91.7	m2	278	1.0		
防護工 一般用地内・河川高水敷部等 極小面積補正無	両側朝顔 シｰﾄ張防護	91.7	m2	1250	1.0		
ﾌﾞﾗｽﾄ用養生ｼｰﾄ工	一般用地内・河川高水敷部等 極小面積補正無 中段足場養生無し	91.7	m2	66.7	2.0		
				足場工施工日数Σ d =	(9.0)		
				設置	(6.0)	供用日数11日	供用日数(d)×1.7
				撤去	(3.0)	供用日数6日	供用日数(d)×1.7
				施工日数	(20.7)		
				施工供用日数	37日		

PCB塗膜除去 上葛内橋
足場工

吊足場 タイプA3 (板張り防護・シート張り防護・1種ケレン用養生シート)

$$\begin{array}{l} \text{幅 (m)} \quad \text{長さ (m)} \\ A = 4.7 \times 19.5 = 91.65 \quad \therefore \quad 91.7 \text{ m}^2 \end{array}$$

朝顔 タイプB (板張り防護・シート張り防護・1種ケレン用養生シート)

$$A = 4.7 \times 19.5 = 91.65 \quad \therefore \quad 91.7 \text{ m}^2$$

足場用吊りチェーン盛替え工

$$A = 4.7 \times 19.5 = 91.65 \quad \therefore \quad 91.7 \text{ m}^2$$

有機ジンクリッチペイント 1層

弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り 2層

弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り 1層

弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り 1層

盛替え

$$A = 91.7 \times 5 \text{回} = 458.5 \quad \therefore \quad 459 \text{ m}^2$$

1種ケレン・塗替塗装実施時使用 防護衣等使用数量算出根拠

素地調整作業者
(1人で想定)

使用品	1日あたり使用数	人数	作業日数	必要数量
電動ファン付呼吸器保護具	—	1	-	1
フィルター	4	1	4	16
使い捨て科学防護服	4	1	4	16
防護手袋	4	1	4	16
シューズカバー	4	1	4	16

ケレンカス回収作業者
(3人で想定)

使用品	1日あたり使用数	人数	作業日数	必要数量
防毒マスク	—	3	-	3
防毒マスク吸収缶 (1回2個使用)	8	3	4	96
使い捨て科学防護服	4	3	4	48
防護手袋	4	3	4	48
シューズカバー	4	3	4	48

塗装作業者 (4人で想定)
※マスクは素地調整時に
使用したものを流用。

使用品	1日あたり使用数	人数	作業日数	必要数量
フィルター	4	1	4	16
防毒マスク吸収缶 (1回2個使用)	8	3	4	96

集計

使用品		必要数量
電動ファン付呼吸器保護具	1	1
フィルター	16+16	32
防毒マスク	3	3
防毒マスク吸収缶	96+96	192
使い捨て科学防護服	16+48	64
防護手袋	16+48	64
シューズカバー	16+48	64

※一袋12双入りの為、6袋で計上

別紙

1種ケレン実施時使用 防護衣等使用数量算出根拠

※日数は上葛内橋施工日数及び施工共用日数の算出より

電動ファン付呼吸器保護具

1人分 1個 (1種ケレンから塗装上塗りまで使用)

フィルター (電動ファン付呼吸器保護具用)

1日・1人当たり4個使用×1人×(4日+4日)=32個

防毒マスク (ケレンカス回収から塗装上塗りまで使用)

3人分 3個

防毒マスク吸収缶

1日・1人当たり8個使用×3人×(4日+4日)=192個

使い捨て科学防護服

1日・1人当たり4着使用×4人×4日=64着

防護手袋

1日・1人当たり4双使用×4人×4日=64双

シューズカバー

1日・1人当たり4個使用×4人×4日=64足